


I C T学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立七戸養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input checked="" type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	修学旅行に行こう		
	単元(題材)の目標	お小遣いの範囲内で、活動計画を立てることができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	6 年 15 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	6年の普通学級と重複学級との合同学習で行った。簡単な漢字の読み書きや計算のできる児童から、写真やイラストから品物や金額、活動内容を理解することができる児童がいる。		
I C T活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad		
	使用したアプリケーションの名称	レジスタディ		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T活用のねらい	計算できる児童も難しい児童でも、文字・値段・写真等のいずれかの情報を頼りに、自分の欲しい商品を選ぶことができるよう、活用した。また、限られた予算の中で、自分がやりたいことができるか判定するために使用した。		
活用の状況と支援	<p>あらかじめ教師がお土産やアクティビティの写真・値段、商品名を入力した。</p> <p>自分で操作や計算ができる児童には、はじめに自分のやりたいことをお土産・アクティビティの一覧プリントから選び、その計画が正しいかどうか、レジスタディで確かめる学習を行った。自分の意見を話すことが難しい児童には、i P a d上の写真を選択し、教師と購入できるか確かめ、修正を行いながら、購入計画を立てる学習を行った。</p>			